



地球館3階「親と子のたんけんひろば コンパス」：フタコブラクダの剥製標本

2024

1

January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1 元日	2	3	4	5	6
7	8 成人の日	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

12

1 2
 3 4 5 6 7 8 9
 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23
 24 25 26 27 28 29 30
 31

2

1 2 3
 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17
 18 19 20 21 22 23 24
 25 26 27 28 29

干支の展示として「龍」にまつわる展示を12年前に企画した。龍は「頭は駱駝」と伝えられ、他と合わせてすべて展示しようと計画したが、使用できるラクダの剥製がなかった。そんな折、千葉市動物公園で死亡したフタコブラクダを剥製として製作する機会を得て、開幕直前に完成したが、乾燥が不十分で、休館日ごとに剥製師さんが微調整をしてくださったのをよく記憶している。(動物研究部・川田)



日本館 3階南翼 (個別に展示) : 石英 4種

2024

2

February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 建国記念の日	12 振替休日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 天皇誕生日	24
25	26	27	28	29		

1

1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

3

1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30
31

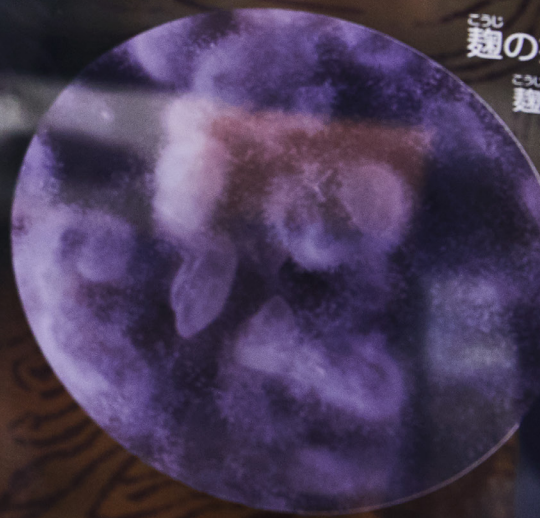
石英の結晶は水晶とも呼ばれ、地球の表面ではもっともありふれた鉱物の一つですが、地球外ではごく稀にしか見つからない鉱物です。石英の結晶(水晶)は、その生成環境に応じて、さまざまな色や形を示します。非常に微細な石英が集合したものは玉髄(ぎょくずい)や瑪瑙(めのう)などと呼ばれ、宝飾品に使われます。(地学研究部・門馬)



コウジカビの拡大模型
代表的なコウジカビであるキコウジの拡大模型。

こうじ 麴

麴は穀物にコウジカビから分泌される酵素が蓄積造に欠かせない。穀物に粉にして用いる場合もある。日本の麴は、世界的にスギの木でつくられた麴



日本館 2階北翼：コウジカビ(アスペルギルス・オリゼー)の拡大模型

2024
3
March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20 春分の日	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2
1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29

4
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30

この拡大模型は、日本館開設時に製作会社へ光学顕微鏡や電子顕微鏡の写真を送って作成してもらったものです。直立した孢子形成構造の末端が球状に膨み、多くの孢子形成細胞から孢子が連鎖的に形成される様子がよく再現されています。カビの構造が細かく、立体的に再現されているのは芸術的です。(植物研究部・細矢)



筑波実験植物園（クレマチス園）：クレマチス・スプーネリ

2024

4

April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29 昭和の日	30				

3

1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30
31

5

1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

筑波実験植物園の「クレマチス園公開」で展示されている、中国原産の野生種と考えられているクレマチスですが、近縁種との関係性など今後の研究が期待されます。モンタナ系統で多花性をもち、4弁でふちにフリルも入る白色の花が美しく壁面を飾ります。例年、ゴールデンウィーク前から開花がはじまります。(植物研究部・村井)



日本館 3階南翼：オオンシロアリタケ

2024

5

May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

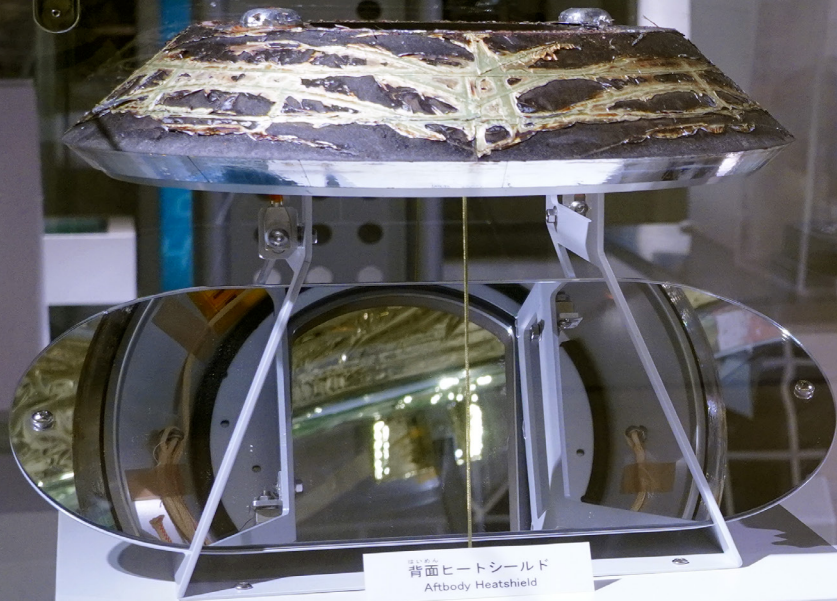
4

1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30

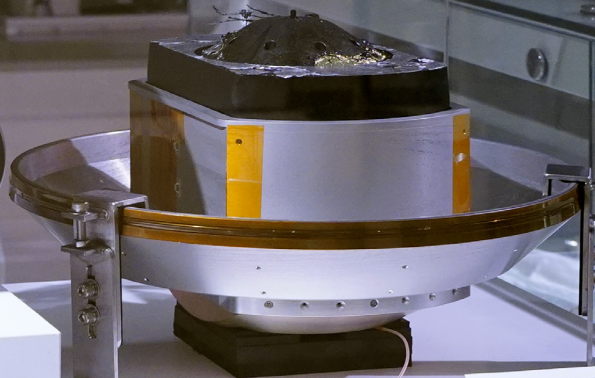
6

1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30

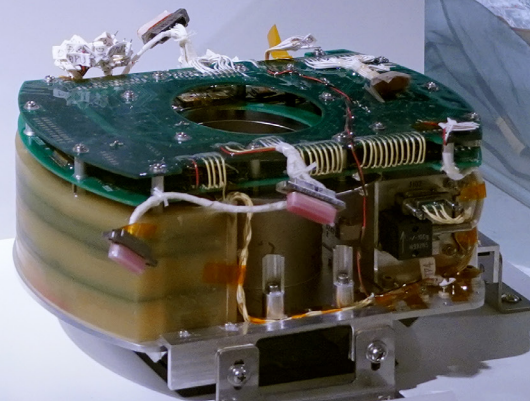
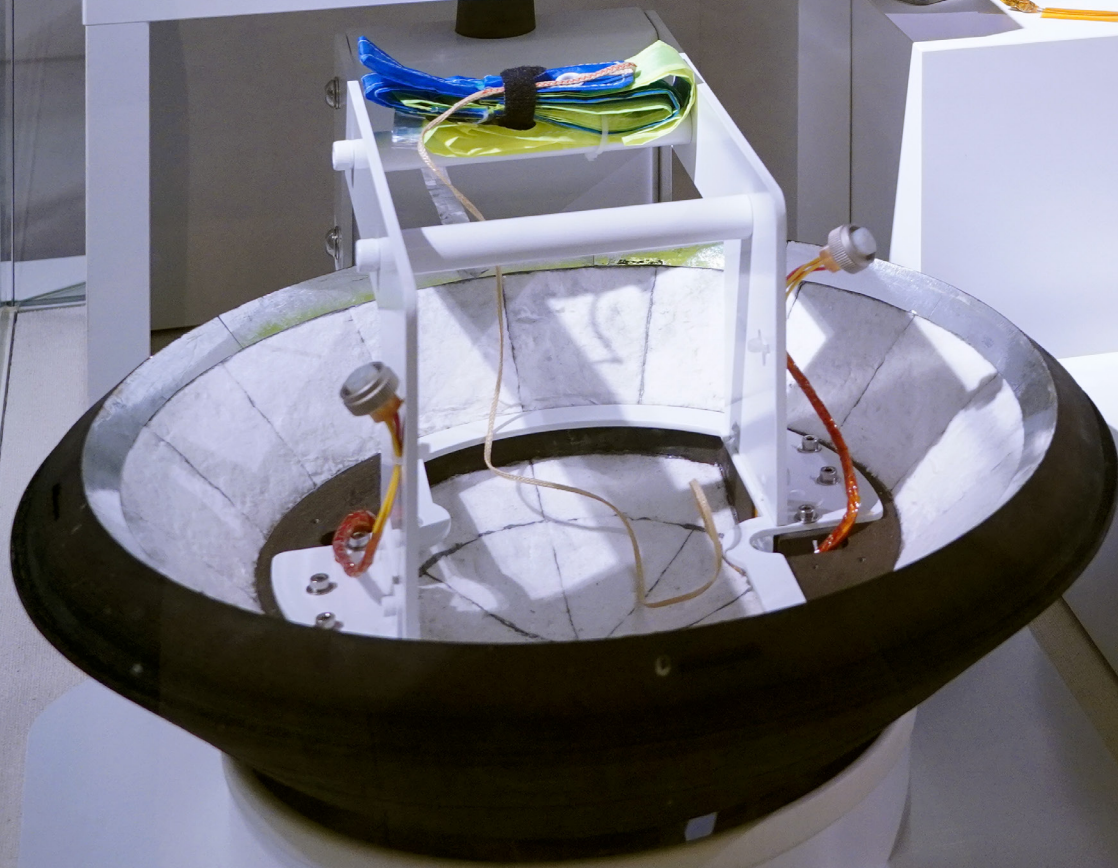
実物から型取りしたレプリカのオオシロアリタケです。このキノコは発生して数日で腐ってしまうので、西表島の協力者に連絡しておき、発生の通知後すぐに飛べるように予定も空けていました。美味しいので最初の候補地では食べられてしまいましたが、2番目の候補地で採取しました。キノコの下シロアリの巣は本物です。(植物研究部・細矢)



背面ヒートシールド
Aftbody Heatshield



インストゥルメントモジュール
Instrument Module



搭載電子機器部
Onboard Electronics

2024

6

June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

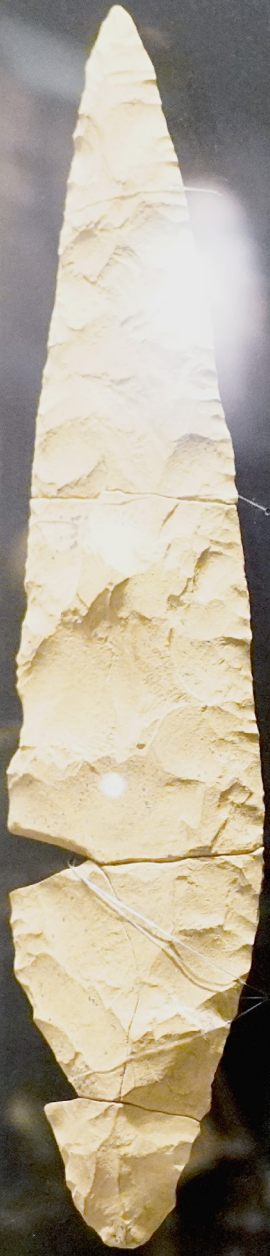
5

1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

7

1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

2010年6月に小惑星イトカワのサンプルを地球に持ち帰ったカプセルの実物です。5つのパーツに分かれており、ヒートシールドを見ると表面が大気圏突入で高熱になった様子が分かります。イオンエンジンのトラブルや通信途絶などを乗り越えて、サンプルを持ち帰ることに成功し、人々に大きな感動を呼びました。(理工学研究部・米田)



尖頭器
レプリカ
ピリカ遺跡(北海道)
所蔵：今金町教育委員会



尖頭器
レプリカ
白滝遺跡群(北海道)
大型のものは実用品ではなく儀礼・贈答に用いられたのであろう。意図的に壊されている可能性がある。
所蔵：遠軽町教育委員会



細石刃核と細石刃
オルイカ2遺跡(北海道)
湧別技法によって作られている。
所蔵：北海道埋蔵文化財センター



尖頭器
白滝遺跡群(北海道)
所蔵：遠軽町教育委員会



錐
白滝遺跡群(北海道)
穴を開ける道具
所蔵：遠軽町教育委員会白滝教育センター



搔器
白滝遺跡群
皮なめし
所蔵：遠軽町教育委員会



有舌尖

日本館 2階北翼：白滝遺跡群の旧石器
(実物所蔵：遠軽町埋蔵文化財センター)

2024

7

July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 海の日	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6

1
 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15
 16 17 18 19 20 21 22
 23 24 25 26 27 28 29
 30

8

1 2 3
 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17
 18 19 20 21 22 23 24
 25 26 27 28 29 30 31

国内最大級の黒曜石産地である赤石山の麓の旧石器時代遺跡を白滝遺跡群と呼びます。ここでは約3万～1万年前に作られた良質な黒曜石の尖頭器や、石器製作の工程がわかる多数の資料などが含まれ、石器の質・量、石器製作技法の変遷を追えることも評価されたため、2023年に1,965点の石器が国宝に指定されました。(人類研究部・藤田)



日本列島を囲む豊かな海

Japan's Rich Sea Surrounding the Japanese Islands

07 11

日本列島は、東は北太平洋、西は日本海、南は東シナ海と西太平洋、北はオホーツク海に面しており、南から暖かい黒潮が、北から冷たい親潮が流れてくる。動物地理的には、南から亜熱帯海域、温帯海域、亜寒帯海域に大きく区分され、各々の海域に特有な海の生物たちが生息している。

日本館 3階南翼：日本列島を囲む豊かな海

2024

8

August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 山の日	12 振替休日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

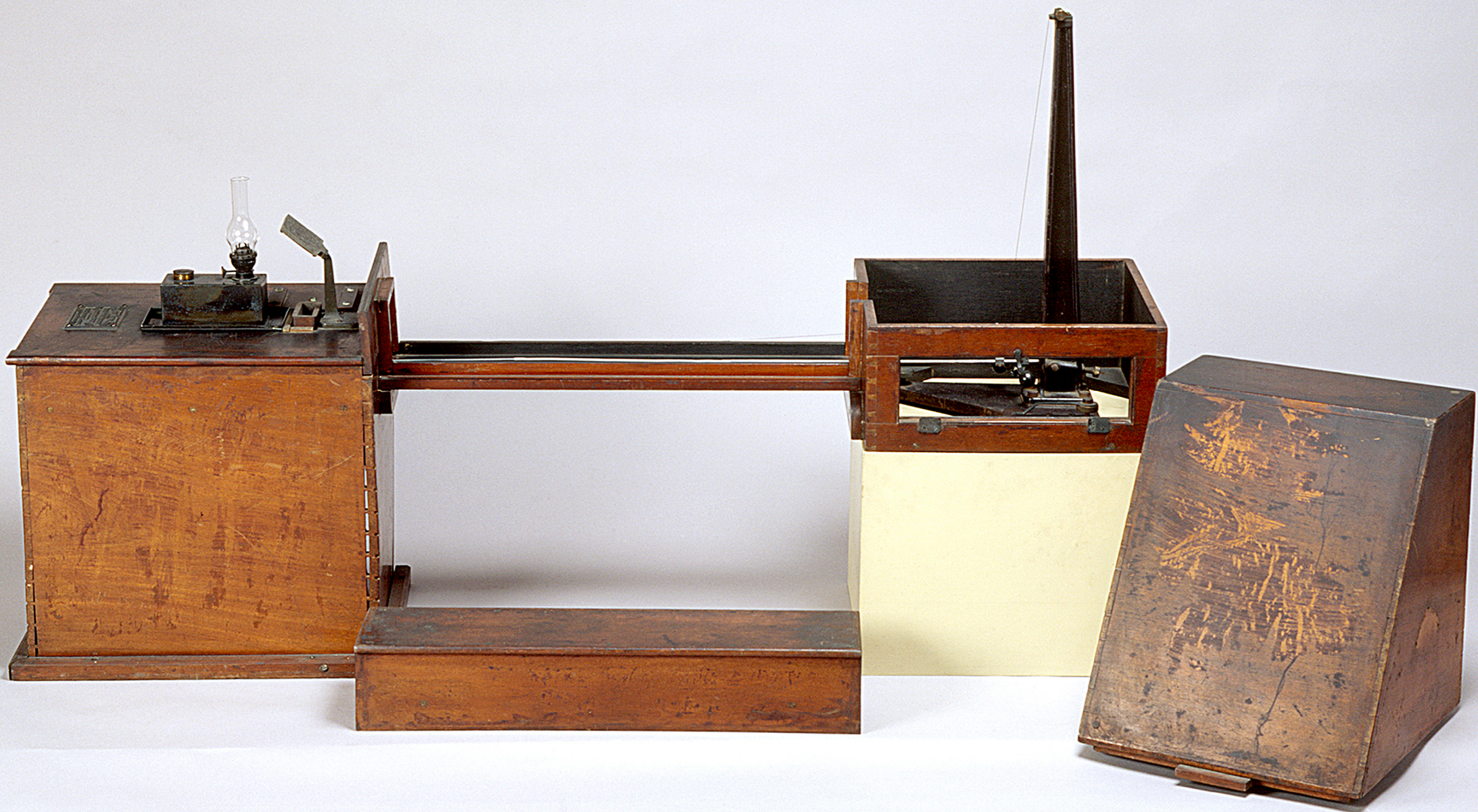
7

1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

9

1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30

暖かい黒潮と冷たい親潮の影響を受ける日本列島の沿岸は生物多様性がとても高い海域です。このコーナーでは、深海調査をはじめとする様々な海洋調査で収集した標本を活用し、環境によって異なる生物多様性を黒潮域と親潮域、太平洋側と日本海側、あるいは水深で区別して三次元的に表しています。(動物研究部・齋藤、並河)



日本館1階南翼：ミルン水平振子地震計

2024

9

September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 敬老の日	17	18	19	20	21
22 秋分の日	23 振替休日	24	25	26	27	28
29	30					

8

1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

10

1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

日本で地震学の基礎を築いたジョン・ミルンが、イギリスに帰国する直前の1894年頃に作った地震計です。ミルンが帰国した後に、世界各地に置かれました。日本に現存する由来がはっきりした最古の地震計で、国の重要文化財に指定されています。(理工学研究部・室谷)



地球館地下2階：ラ・フェラシーの生体復元組立

2024
10
October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 <small>スポーツの日</small>	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30

11
1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30

2022年のノーベル生理学・医学賞に選ばれたペーボ博士は、絶滅したネアンデルタール人のゲノム解読に成功し、ホモ・サピエンスはネアンデルタール人のゲノムの一部を受け継いでおり、異なる人類の系統が交わっていたことを明らかにしました。この男性像は、厳しい氷河期に適応した彼らの姿を復元しています。(人類研究部・神澤)



地球館地下1階(エスカレーターホール)：メタセコイアの樹幹

2024
11
November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3 文化の日	4 振替休日	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日
24	25	26	27	28	29	30

10
1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

12
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

1967年、東京都八王子市を流れる北浅川で、中央自動車道の工事の際に発見された約200万年前のメタセコイア化石林の一本です。2021年に当館に寄贈されましたが、長く野外で保管され傷んでいたため、同年の企画展に合わせ、修復しました。絶滅したこの植物がかつて日本列島で繁栄していたことを示す、貴重な標本です。(地学研究部・矢部)



2024
12
December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11
 1 2
 3 4 5 6 7 8 9
 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23
 24 25 26 27 28 29 30

1
 1 2 3 4
 5 6 7 8 9 10 11
 12 13 14 15 16 17 18
 19 20 21 22 23 24 25
 26 27 28 29 30 31

港区白金台にある附属自然教育園では、四季折々の自然が楽しめます。11月下旬から12月中旬にかけては、イロハモミジやツタ、ハゼノキなどの紅葉や、ムクロジ、マンサク、シロモジなどの黄葉で園内が鮮やかに彩られます。冬場は野鳥がよく観察でき、バードウォッチングにも最適な季節です。(附属自然教育園：下田)